METALPOINT

メタルポイント

ガラスエッジを表裏から緩衝材を介して支持部品で挟み込んでガラスを支持する、透明感に溢れるフレームレスガラス溝法です。

JPタワー名古屋（愛知県名古屋市）
設計：株式会社日本設計 様

ガラスエッジを表裏から緩衝材を介して金物で挟み込んでガラスを支持します。風圧力などの外力によるガラスの面外変形に対して緩衝材の変形により、ガラスに発生する応力を抑えます。ガラスに孔加工が不要なため、設計条件によってはフロート板ガラスの使用が可能となります。また、合せガラス・複層ガラスも使用できます。（特許登録済み）

クロスジョイントタイプ

グラサードタイプ

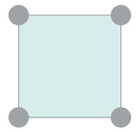
バリエーション

クロスジョイントタイプ

ガラス四隅のエッジを支持部品で支持するタイプです。支持部品は、十字目地部に配置されます。（特許登録済み）

支持金物

丸型：φ125mm、φ105mm　角型：□95mm

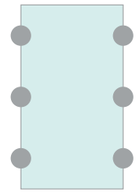


グラサードタイプ

ガラスの縦辺を支持部品で支持するタイプです。高さが5m超のような大サイズのガラススファサードに適しています。

支持金物

丸型：φ70mm　角型：□65mm



ガラス

ガラス製品 P.36

対応ガラス

FL　PT　HS　単　遮熱 省エネ　合 安全　SUN　模様

ガラス構成

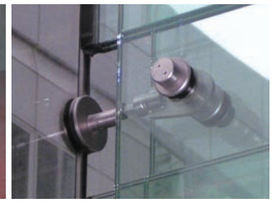
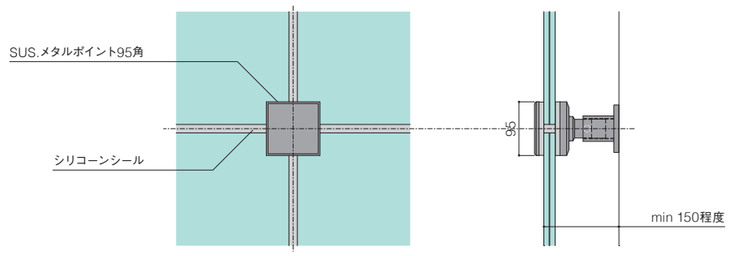
単　板	FL、HS、PT+飛散防止フィルム
合わせ	FL+FL、HS+HS、PT+PT
複　層	FL+A12+FL、FL（Low-E）+A12+FL、HS+A12+HS、HS（Low-E）+A12+HS

※ガラス構成は、設計風圧、ガラスサイズに応じて、FEM（有限要素法）による計算を行って決定します。

製造可能寸法

最　小	100×250mm	最　大	2440×6000mm

金物参考例



納まり参考例